

日本史 交通・通信史 確認問題集

全19問 / 解答・解説は後半

名前

記事「日本史 交通・通信史の流れ | 駅制から五街道・鉄道・郵便まで」を読んだあとに解く問題集です。答えを書いてから後半の解答・解説で確かめ、間違えた問題は解説にある記事の節を読み直してください。

第1部 一問一答

問いに当てはまる語句を答えなさい。

1 律令制で、都のある畿内から地方へのびる東海道・東山道など7つの道をまとめて何というか。

2 律令制で、各郡の郡家に置かれ、国司の赴任など急がない公用に使われた馬を何というか。

3 中世に、牛に車を引かせて物資を運んだ運送業者を何というか。

4 江戸時代の宿駅で、人馬の継ぎ立てを取り仕切った事務所を何というか。

5 江戸時代の関所で、関東へ鉄砲が持ちこまれることと、大名の妻子が国元へ帰ることを厳しく調べた方針を何というか。

6 大堰川・富士川・高瀬川などの水路を開いた京都の豪商はだれか。

7 江戸時代、宿駅の人足が次々に引き継いで幕府の公用文書を運んだ飛脚を何というか。

8 1881年に華族や士族の金禄公債を資本として設立された、日本最初の私鉄は何か。

9 1885年に郵便汽船三菱会社と共同運輸会社が合併して生まれた海運会社は何か。

10 1925年にラジオ放送が始まった翌年に設立された放送事業体は何か。

第2部 正誤問題

次の文ア～エのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

11 古代の交通について。

- ア 七道に沿った駅路には、原則として30里（約16km）ごとに駅家が置かれた。
- イ 公用で旅をする役人は、駅鈴を示して駅馬を乗り継いだ。
- ウ 駅制は、庶民が自由に旅をするために整えられた制度である。
- エ 調や庸は、納める人自身が都まで運ぶのが原則であった。

12 中世から安土桃山時代の交通について。

- ア 問丸は、港や都市で年貢などの保管・輸送・中継取引を行った。
- イ 中世の関所の多くは、関銭を取ることを目的に置かれた。
- ウ 織田信長は、京都を含む全国の関所を撤廃した。
- エ 馬借は、室町時代にしばしば土一揆の中心になった。

13 江戸時代の交通について。

- ア 五街道は江戸の日本橋を起点とし、1659年からは道中奉行が管理した。
- イ 助郷は、宿駅の人馬が足りないときに周辺の村々に人馬を出させる負担である。
- ウ 西廻り航路は、出羽の酒田から日本海を通り、下関・瀬戸内海を経て大坂に至る。
- エ 樽廻船は木綿や油などの日用品を運び、酒樽はおもに菱垣廻船が運んだ。

14 明治以降の交通・通信について。

- ア 1871年に、前島密の建議にもとづいて官営の郵便が始まった。
- イ 1872年に、新橋・横浜間に日本で最初の鉄道が開通した。
- ウ 鉄道国有法は、日露戦争が始まる前の1903年に制定された。
- エ 1964年に、東京・新大阪間に東海道新幹線が開業した。

第3部 年代の並べ替え

次のア～エを、古いものから年代順に並べなさい。

15 江戸時代の交通・通信に関するできごとを年代順に並べなさい。

- ア 道中奉行が置かれた。
- イ 徳川家康が東海道の宿駅に伝馬制を定めた。
- ウ 西廻り航路が整えられた。
- エ 三都の商人が幕府の公認を受けて町飛脚を開業した。

16 明治前期の通信・交通の始まりを年代順に並べなさい。

- ア 官営の郵便が始まった。
- イ 新橋・横浜間に鉄道が開通した。
- ウ 東京・横浜間で電信の取り扱いが始まった。
- エ 万国郵便連合に加盟した。

17 明治中期から昭和のできごとを年代順に並べなさい。

- ア 鉄道国有法が制定された。
- イ テレビの本放送が始まった。
- ウ 日本郵船会社が設立された。
- エ ラジオ放送が始まった。

第4部 論述問題

次の問いに答えなさい。字数は目安です。

18 中世に関所が増えた理由と、それに対して織田信長・豊臣秀吉がとった政策を、100字程度で説明しなさい。

19 1906年に鉄道国有法が制定された背景を、私鉄の発達にふれながら100字程度で説明しなさい。

日本史 交通・通信史 確認問題集 解答・解説

第1部 一問一答

1 七道

七道は地方の区画の名前であり、各地域を貫く交通路の名前でもありました。山城・大和など畿内の5か国を指す五畿と区別します。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／古代

2 伝馬

急ぎの公用に使う駅馬と違い、伝馬は郡ごとに置かれ、利用の証明には伝符を使用しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／古代（駅馬と伝馬の表）

3 車借

道路の整った京都周辺で活動しました。馬の背に荷を載せて運ぶ馬借と区別します。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／室町～戦国時代

4 問屋場

本陣・脇本陣が宿泊の施設であるのに対し、問屋場は人馬を差配する事務所です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代（1）

5 入鉄砲に出女

江戸の防衛と大名の統制が目的でした。箱根・新居・碓氷・木曾福島などの関所が知られます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代（1）

6 角倉了以

河村瑞賢（航路）、前島密（郵便）と並べて、人物と事業の組み合わせで覚えます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代（2）

7 継飛脚

大名が国元と江戸屋敷を結んだ大名飛脚、民間の町飛脚と区別します。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代（3）

8 日本鉄道会社

1891年に上野・青森間を全通させました。上野・高崎間の路線は生糸を横浜へ運ぶ役割も果たしました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／明治後期～昭和戦前

9 日本郵船会社

両社の激しい競争を、政府が仲介して収めた結果、合併が実現しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／明治後期～昭和戦前

10 日本放送協会

1925年に東京放送局がラジオ放送を始め、翌1926年に日本放送協会が設立されました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／明治後期～昭和戦前

第2部 正誤問題

11 ウ

駅制は中央と地方の連絡のための、役人の公用のしくみでした。庶民の旅のためのものではありません。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／古代、入試で狙われるポイント

12 ウ

信長の関所撤廃は自分の分国に限られ、京都の関所などには及びませんでした。撤廃を全国に広げたのは豊臣秀吉です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／安土桃山時代、入試で狙われるポイント

13 エ

酒樽をおもな積荷としたのは樽廻船です。菱垣廻船は木綿・油・しょうゆなどの日用品を運びました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代（2）、比べて覚える

14 ウ

鉄道国有法は日露戦争後の1906年、第1次西園寺公望内閣のときに制定されました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／明治後期～昭和戦前、入試で狙われるポイント

第3部 年代の並べ替え

15 イ→ア→エ→ウ

伝馬制（1601年）→道中奉行（1659年）→町飛脚の開業（1663年）→西廻り航路（1672年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）、時代ごとに詳しく見る／江戸時代

16 ウ→ア→イ→エ

電信（1869年）→郵便（1871年）→鉄道（1872年）→万国郵便連合加盟（1877年）の順です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／明治前期

17 ウ→ア→エ→イ

日本郵船会社（1885年）→鉄道国有法（1906年）→ラジオ放送（1925年）→テレビ本放送（1953年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）、時代ごとに詳しく見る

第4部 論述問題

- 18** 解答例：中世には幕府や朝廷、寺社、公家などが財源を得るため、交通の要所に関所を設けて関銭を取ったので、室町時代には関所が乱立して流通が妨げられた。織田信長は分国の関所を撤廃し、豊臣秀吉は撤廃を全国に広げた。

採点のポイント：①関銭を取る（財源を得る）ための関所であること、②乱立して流通を妨げたこと、③信長は分国、秀吉は全国という範囲の違い、の3点が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／室町～戦国時代・安土桃山時代

- 19** 解答例：日本鉄道会社をはじめ私鉄が発達し、1905年ごろには営業距離が官営の約2倍に達した。しかし日清・日露戦争で軍事輸送の重要さが示され、輸送の統一も求められたため、第1次西園寺公望内閣が主要私鉄を国有化した。

採点のポイント：①私鉄の発達（日本鉄道会社など）、②軍事輸送の重要性、③輸送の統一、④第1次西園寺公望内閣による主要私鉄の国有化、が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／明治後期～昭和戦前、論述で使える要点

記事：日本史 交通・通信史の流れ | 駅制から五街道・鉄道・郵便まで <https://lawcityblog.com/nihonshi-theme-kotsu/>
問題・解説は文系ラボのオリジナルです。無断転載を禁じます。